

# オオバギ

か めい  
科名 トウダイクサ

がくめい  
学名 Macaranga tanarius

べつ めい  
別名



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 おきなわ、たいわん、ちゅうごく、とうなん  
沖縄、台湾、中国、東南アジア

は かたち  
葉 の 形 らんけい、こうらんけい  
卵形、広卵形

は ふち  
葉 の 縁 ぜんえん、きよし  
全縁、鋸歯

は さき  
葉 の 先 びじょうけい  
尾状形

は しゅるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は きふ えんけい  
葉 の 基部 円形

み しゅるい そうか  
実 の 種類 そう果

は な がくいろ りよくおうしょく  
花・萼色 緑黄色

せいめい  
説 明 ていち、さんち、あち、はやし、ふち、せいいく、たか、じょうりよく、しょうこうぼく、えだ、ふと  
低地から山地の荒れ地や林の縁などに生育し、高さ4-10mの常緑の小高木で、枝は太  
く、若木の時には毛が生えます。葉は互生し、傘を広げたような特徴のある盾状の形を  
しており、10-25cmと大型で、葉の先は尾状形をしています。葉柄の長さは6-15cmです。  
花は腋生し円錐花序、緑黄色で小型の花が咲きます。実は球形で黒く熟します。